

ま え が き

この度、東京学芸大学先端教育人材育成推進機構・国際教育グループでは、『在外教育施設における指導実践記録 第45集』を刊行しました。『在外教育施設における指導実践記録集』は、本学に海外子女教育センターが設置された時に創刊され、のちに国際教育センターとして名称変更した際も継続して刊行してきました。

そして、今年度は、学内の組織再編により、先端教育人材育成推進機構・国際教育グループとして再出発した中で、『在外教育施設における指導実践記録 第45集』を刊行することができました。刊行に当たっては、在外教育施設での任期を終えて帰国後間もない先生方に全面的なご協力を頂きました。また、原稿を募集するにあたっては、財団法人海外子女教育振興財団に多大なご協力を頂きました。ご協力いただきました皆様に改めてお礼申し上げます。

近年、在外教育施設では、子どもの実態や教育要求の多様化への対処、児童生徒を確保するための魅力ある学校づくり、危機管理対策など、極めて多岐にわたる多くの課題を抱えております。加えて2019年末に発症し世界中に広まった新型コロナウイルス感染症は、未だ終息の兆しが見えないままです。この新型コロナウイルス感染症対策により、世界中の人々の生活様式や働き方は大きく変化したとともに、学校教育や在外教育施設の在り方にも大きな影響を及ぼしました。

『在外教育施設における指導実践記録 第45集』は、社会の厳しい状況にもかかわらず、現地の実情に応じながら、各在外教育施設で先生方が創意工夫のもと行われた実践をまとめたものです。

この貴重な『在外教育施設における指導実践記録集』が、今後、派遣を希望される方々をはじめ、海外子女教育に関心を持たれる方々に、活用していただけることを願います。

2023年2月

東京学芸大学 先端教育人材育成推進機構
国際教育グループ長
見世千賀子